

両生類の会



おしゃべりミーティング 2018

障がいや生きにくさを抱える人も、支える親・支援者・地域の人も、
「自分らしく生きたい!」と願うのは皆 同じです。

色とりどりの個性が輝く社会は、虹のように人を幸せにしてくれるはず。
まずは、つながって楽しくおしゃべりすることから… 一緒にいかがですか？

日時 平成30年9月15日(土) 13:30~17:00

会場 ユートリー 4階 研修室 (JR八戸駅隣り)

内容 第1部：両生類の会 メンバーによる 談義
【進行】日置真世氏
NPO 法人地域生活支援ネットワークサロン代表理事

第2部：自由参加型の テーブルトーク

参加費 無料

申込方法 氏名・所属・お立場(支援者・保護者・一般等)・連絡先をメールでお知らせ下さい。

送信先 ⇒ soyokaze_0024@yahoo.co.jp

お問合せ TEL 0178-51-6677 【担当/NPO 法人 そよかぜ 大西】

申込〆切 9月10日(月)

【主催】両生類の会

【後援】青森県発達障害者支援センター「ステップ」、青森県自閉症支援研究会、八戸自閉症児(者)親の会

両生類の会 について



障がい児・者の親であると同時に、仕事として障がい児・者の生活や就労等の支援に携わるメンバーが集まり、2012年設立された会です。

メンバーは、日々の生活の中で両方を経験することのメリット、デメリットを痛感しながら、両方の世界を行き来しています。つまり、親であり支援者という両方の世界に住むという意味で「両生類」と呼んでいます。

両生類であることで感動や落胆も多く、一言では表現できない様々な経験をしています。そこでこの貴重な経験を共有し、ともに成長し合うことができるよう以下の趣旨で「両生類の会」を立ち上げました。

《趣旨》

- ・親として、支援者として、でもやっぱり「ひとりの人間として」生きたい。
- ・両方を感じられる自分たちの経験を生かし、その役割を社会に還元していきたい。
- ・支援の現場に「人間性と専門性のバランス」を大切にすることを広めたい。
- ・どんな障害があっても、子どもたちも、そして私たちも自分らしい人生を送りたい！誰もが自分の人生の主人公なのだから。

会員は現在、全道・東北各地に23名。

メーリングリストを活用しエッセイの執筆・情報交換を行っています。

エッセイ集発売します！

両生類の会の定期活動である「リレーエッセイ」を冊子にして、当日会場で発売します。(1冊500円です。)

親であり支援者であるからこそ感じる日常の出来事や心の機微、揺れる思い、熱い思いなどなど…

それぞれの気持ちの入った個性豊かなエッセイが納められています。

家族の方たちにも、支援者の方たちにも何か感じてもらえることと思います。

